

# 令和4年度事業報告

## 1 事業の概要

第2次「鈴鹿市文化振興ビジョン」を指針として、文化芸術事業を企画実施しました。

### 第2次「鈴鹿市文化振興ビジョン」重点施策

1. 文化にふれるまち
2. 音楽のまち
3. 子どもが元気なまち

新型コロナウイルスの影響があった1年でしたが、日々変わる見解の中、新しい生活様式に合わせ、今年度は鈴鹿市制施行80周年記念・鈴鹿市文化振興事業団25周年事業の3本をはじめ様々な鑑賞事業を実施することができました。またフィールドを地域へ広げ、各地域に眠る文化の掘り起こしに力を入れました。さらにコロナの影響で、止まっていた音楽、演劇アウトリーチを再開することができ、次世代育成に力を入れていくことができました。

市の文化振興事業を受託して実施する「第31回鈴鹿市文芸賞」は、市民の方々の創作意欲を高める取組として実施いたしました。また「第54回鈴鹿市美術展」は会場をイスのサンケイホール鈴鹿(鈴鹿市民会館)に変更実施することができました。新たな試みとして、HPに入選作品をすべて掲載し、コンパクトな会場でたくさんの方に参加していただきました。

## 2 公益目的事業

### (1) 市民シアター

#### 【クラシック系音楽公演】 (4公演実施)

- ① 「鈴鹿市公民館 Presents ミュージック・ガーデン 2022」(一宮、郡山、深井沢公民館) 鈴鹿市地域協働課と公民館の協力を得て、6年目となる「ミュージック・ガーデン」を実施しました。
- ② 吹奏楽フェスティバル in 鈴鹿 2023～応援をあなたに届けます～ 市内小学校の金管バンドクラブ(神戸小学校、玉垣小学校) 中学、高校の吹奏楽部(天栄中学校、神戸中学校、神戸高校、白子高校)の演奏を楽しんでいただきました。

#### 【軽音楽系公演】 (2公演実施)

- ① 手嶌葵 15th ANNIVERSARY Concert 2022 鈴鹿で二度目の公演となりました。ジブリ映画の楽曲やCMソングをはじめとした名曲の数々をピアノ、ギターとともに届けました。唯一無二の歌声と世界観を持ち、聞く人の心に深く残るコンサートとなりました。

② 鈴鹿市制施行 80 周年、鈴鹿市文化振興事業団 25 周年記念事業

「鈴鹿と・き・め・き音楽祭」

鈴鹿ときめきカルチャー大使の真山隼人、和太鼓凜、伊藤ケイスケ、中村好江、ゲストに山下真理、江藤良人を加えて異色のコラボで市制 80 周年・事業団 25 周年を盛り上げました。

【伝統芸能公演】 (4 公演実施)

① 鈴鹿市制施行 80 周年、鈴鹿市文化振興事業団 25 周年記念事業

「鈴鹿獅子舞サミット 2022」

市内 10 獅子舞保存団体に舞台上で獅子舞を披露していただきました。

② 鈴鹿市公民館 Presents 公民館寄席 2022(鈴峰、白子、石薬師)

地域文化事業の一つとして、鈴鹿市地域協働課と公民館の協力を得て、「公民館寄席 2022」を開催いたしました。初年度は 3 館で行い身近に落語を楽しんでいただきました。

【親子・子ども向け公演】 (2 公演実施)

① 鈴鹿市制施行 80 周年、鈴鹿市文化振興事業団 25 周年記念事業

音楽の絵本～コンアモーレ～

親子で楽しめるクラシックコンサートのズーラシアンブラスを市制 80 周年・事業団 25 周年の記念事業として特別価格での良質なプログラムの提供となりました。

また鈴鹿市独自の企画とし、市内在住の動物彫刻家・上原正廣氏による登場動物をモデルとした段ボールアートのロビー展示を行い観覧いただきました。

② 絵本はゆかいなともだち～親子で楽しむわくわくコンサート～

絵本作家のおかすなお氏の絵本の朗読を歌のおねえさん(川越未晴)、ピアノのおにいさ(犬飼裕哉)による歌唱つきで行いました。ホールにはおか先生の絵本の原画も展示され、色鮮やかで緻密な描写を間近で鑑賞いただきました。

(2) 共催事業 (2 事業実施)

① 劇団花さつき第 16 回公演「しろこのゆかり」(劇団花さつき共催)

今注目の徳川家康と白子のゆかりについて知っていただく機会となりました。

② 「合唱フェスティバル in 鈴鹿 2022」(合唱フェスティバル実行委員会共催)

鈴鹿市内の 8 つの合唱団によるクリスマスコンサート。今回はコロナ後初の観客を入れて開催することができました。

(3) 文化工房

【令和鈴カルカレッジ】(4 講座実施)

① 「鈴カルカレッジ 2022」

文芸コース 1 講座、芸術コース 1 講座、教養コース 2 講座を開講しました。会場はジェフリー鈴鹿を使用し楽しく学んでいただきました。

「鈴カルカレッジ 2022 《放送セミナー》」

① 「軍都から近代都市～鈴鹿市を形づくった時代～」

② 「岩石や化石ってこんなに面白い」

ケーブルネット鈴鹿との共同事業であり、毎年テーマを決めて番組を制作しています。2022年度1作目は「軍都から近代都市～鈴鹿市を形づくった時代～」と題して鈴鹿市の市制施行80周年を記念し制作しました。2作目は「岩石や化石ってこんなに面白い」では神戸高校に集められている岩石や化石を教材に三重県、鈴鹿の歴史を学べる番組を製作いたしました。

#### 【アウトリーチ・ワークショップ】（2講座実施）

① 音楽アウトリーチ（牧田小学校、石薬師小学校）

新型コロナウイルスの影響で止まっていたアウトリーチ事業を再開することができました。音楽室で音の出る仕組みを学習してもらう体験型ワークショップを20分と演奏を聴いてもらう演奏会が20分行われました。

② 演劇アウトリーチ（鼓ヶ浦小学校、井田川小学校）

劇団うりんこの小原ひろみさんと下出祐子さんを講師として行われました。体全体を使用して物事を表現すること、コミュニケーションをとる方法などを学ぶことができました。

#### 【動画配信】（1事業実施）

① YouTube 配信

本年度制作した放送セミナーを2本配信しました。また鈴鹿と・き・め・き音楽祭、獅子舞サミットの周知素材として9本配信しました。チャンネル登録数も少しずつ増えてきました。

#### 【子供向け学習事業】（1事業実施）

① 獅子舞サミット 工作教室 講師：上原 正廣

次世代育成として、獅子頭の工作教室を公民館等で行いました。夏休みの子供たちが発砲スチロールを加工し、思い思いの個性豊かな表情の獅子頭作りに没頭する姿がみられました。

#### (4) 地域文化事業

① 鈴鹿市 公民館 Presents 公民館寄席 2022

② 地域コンシェルジュ育成講座 「素敵な講座の進め方」 講師：伊藤ケイスケ

市内公民館主事・職員を対象に前半は基本的な音響設備の役割や操作方法の説明、後半は実際に伊藤ケイスケさんによる津軽三味線の演奏を聴いてもらい、音響設備の有効性を体験していただきました。

#### (4) 鈴鹿市受託事業

① 「第54回鈴鹿市美術展」

鈴鹿市文化会館が改修中で使用できないことため、初めてイスのサンケイホール鈴鹿 展示室に会場を移しての開催となりました。会場が大幅に縮小した影響から展示数の減少となり、その対策として Web での作品紹介の充実を図りました。

## ②「第 31 回鈴鹿市文芸賞」

一般部門では散文（小説・評論等、エッセイ、アフォーリズム）、短詩型文学（詩、短歌、俳句、川柳）で 70 作品、ジュニアの部では散文と短詩型文学合わせて 583 作品の応募がありました。市内外で長年活躍されている選考委員を中心に審査を行い、各ジャンルで最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定しました。贈呈式は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為後半部分の朗読会を中止と致しました。受賞作品は文芸誌「市民文化 2022」に掲載して一般の方に販売しました。

## (5) 広報事業

広報媒体として文化情報紙「けやき」を年間 6 回（各回 78,650 部）発行し、市の「広報すずか」への折込や、県内の主要公共施設等へ配布・配架しました。また、事業ごとのチラシ、ポスターも作成しました。三重県全域及びラジオ聴取者への情報提供として FM 三重でのスポット CM も行いました。三重県全域及びテレビ聴取者への情報提供として三重テレビでのスポット CM も行いました。ホームページは更新をこまめに行い、最新の情報の提供に努めました。SNS(Twitter、Facebook)を利用し、事業の告知等を行いました。

## 3 施設管理事業

現在、当事業団は施設の管理運営を実施しておりませんが、指定管理者制度が導入される場合に備えて検討をしてきました。コンサルタントと契約し準備を行いました。

## 4 収益事業

令和 4 年度は収益事業の実施はありませんでした。

## 5 法人事業

理事会を 4 回、評議員会を 3 回（みなし、臨時を含む）開催しました。